

ホールインワン

赤谷慶子

三十代前半のほど、ゴルフの上達志し、親友と共に下總市原市なるゴルフ場の會員権を買ひき。何年も通りし愛着のありし二十七ホールを擁するゴルフ場は、さる國の大手車輪會社に買はれ保證金戻り來たれり。八十五歳ほどまではゴルフにいそしまむと思ひたれば少々口惜し。そのゴルフ場の近くに姉ヶ崎カントリー俱樂部といふチャンピオンコースありて、特別平日會員の權利を取得せり。犬友にして且つゴルフ友なる上智大學名譽教授も一緒に入會せり。ハンデイを得るには三か月の間に五枚のスコアカードを提出する要あり。それに向けしたたむる事とし春の初めに訪ひたり。その日は平日にも關はず混雑しキャディー付かざりき。西コースの七番ホール距離百三十ヤードの所にて吾はホールインワン達成せり。木の五番にて打ちし球は山の左斜面にぶつかり轉がりてグリーンに乗りたり。ただ勢ひ良ければころがり落ちこそすれ、吾はテイ拾い上げ球の行方は見ざりき。やあつてパートナー「あ、入りたり」とののしれば、戲言かと思ひきや、げに入れり。このついでいかげせむやと思ひ、後ろの組に手振りにてホールインワンと傳へむとすれど、意味の分からぬけしきなりき。前半の演技終へ、キャデイマスター室へホールインワンせる事傳ふれば、「ホールインワン申出書」といふ書類歸り際に渡されき。きしかた二十年ゴルフ保険に加入したれば、翌日早速預かる者に回文を入れき。別の社員より電話あり、キャディー不在のついで、同組ならず、前か後ろの組の人證人にならずば保険は降りずといふ。呉ゴルフ場より「申出書」を得たる由をことわれど、「そは我々にとりては不要なる文にて」と返しきたり。姉ヶ崎カントリー俱樂部は我に保險會社の不要なる文をくれしやと切り返しき。きしかた何十年も年ごろ支拂ひこしはされば何のゆゑか。「了解せり。ホールインワンの特約を即刻解除したまへ。」と言ひて電話を切れど、怒り心頭。話す言葉の選擇は難し。不要なる文ならず、その文にはともしければ、前後の組の人に證人にならすよりほかによしはあらぬ等、他の言ひやうなからめやと思ひき。まあ今後またホールインワンはせざらめば特約の解除を決斷し、我が身に於ては憤怒の情、いささか收まれりといふべきか。

(令和五年四月三十日受附)